



広田小学校だより

はまなす

校訓 「希望に起ち 充實に活き 感謝に眠る」

陸前高田市立広田小学校
校報 第25号
2026年1月30日
文責 吉田和浩

2学期の学校評価の様子から！

令和7年度2学期 児童・教員・保護者結果		全校児童				教員	保護者
		達成率	A	B	C	D	達成率
健康で 明るい 子	1 自分から気持ちよくあいさつしたり、友達や先生からのあいさつに気持ちよくこたえたりすることができたか。	93%	63%	30%	7%	0%	88%
	2 「健康・早起き・朝ごはん」と「ゆみがき」をしっかりと、健康に生活することができたか。	91%	62%	36%	9%	0%	100%
	3 休みの時間や運動会の練習など、めあてをもち運動に取り組むことができたか。	99%	80%	19%	1%	0%	88%
	4 避難訓練や防犯教室、交通安全教室に真剣に参加し、自分の命を守る方法がわかりましたか。	98%	90%	9%	2%	0%	100%
心豊かで 思いやり のある 子	5 友だちのよいところを見つけ、認めることができたか。	94%	80%	14%	6%	0%	100%
	6 学校のきまりを守って、生活することができたか。	92%	58%	34%	6%	2%	100%
	7 進んで事を終ることができましたか。	76%	53%	22%	19%	6%	65%
	8 自分や友達の命を守るためにどのような行動をとるべきかを覚えて生活していますか。	95%	73%	22%	5%	0%	88%
よく考え 最後まで やりぬく 子	9 学校での勉強が楽しく、わかった・できたと思えましたか。	97%	69%	26%	2%	1%	73%
	10 漢字・計算チャレンジの取組では、前の学習をつなげて学べたり、前の学習をつかたりして、自分の力を伸ばそうと努力していますか。	95%	73%	22%	5%	0%	80%
	11 目、耳、心を向けて、人の話をしっかりと聞くことができたか。	87%	63%	24%	13%	0%	
	12 勉強道具をしっかりとそろえ、自分持ちせすに学習に参加することができたか。	87%	45%	42%	10%	2%	88%
授業の 様子 教師の 評価	13 メディアをセーブしながら、適量や一人勉強に取り組むことができたか。	91%	49%	42%	6%	1%	77%
	14 自分のよさや得意なことさらに伸ばそうとしたり、できるようにになりたいという強い願いをもとうとしたりしていますか。(さめ縄やかるた指導支援)	98%	73%	24%	2%	0%	88%
	15 授業では、自分で考えたことを話したり書いたりしながら、自分から取り組んでいますか。	92%	62%	30%	6%	2%	
	16 授業の振り返りでは、「何が大事だったか」分かったことを話したり書いたりすることができたか。	91%	63%	26%	6%	1%	
教師の 評価	17 授業で分からないところについて、先生や友達に聞いてわかったか。	91%	60%	30%	6%	3%	
	18 先生は、あなたのよいところやがんばったことを 褒めてくれましたか。	95%	83%	13%	3%	1%	
	19 先生は、悪いことをしたとき、きちんと注意したり、しかったりしてくれましたか。	98%	84%	14%	2%	0%	88%
	20 先生は、よく相談のつてくれたり、話を聞いてくれたりしましたか。	97%	79%	17%	2%	1%	
家での 取組	21 自分から気持ちよくあいさつしたり、お家の人や地域の人のあいさつに気持ちよくこたえたりすることができましたか。	94%	66%	26%	5%	1%	97%
	22 朝と夜にゆみがきをし、健康早起きができましたか。	88%	61%	37%	10%	1%	93%
	23 言葉づかいに気を付けながら生活しましたか。	79%	44%	35%	15%	6%	84%
	24 進んで事を終ることができましたか。	70%	44%	26%	23%	7%	59%
	25 「リクタカルール」をもとに、メディア機器の使い方を上手に話したり、振り返りもしましたか。						76%
	26 タブレットを活用した適量等にに取り組むことを促しましたか。						69%

2学期に行いました学校評価の状況を報告いたします。

回答結果を見ると、全体的に進んで学習したり、落ち着いて生活したりしている様子が窺えます。これは意図的な指導による成果と捉えています。しかし、「読書や言葉づかい」については、8割に満たない項目も見られました。

【学びの基礎力づくり】

1学期教員評価の低かった項目です。そのため、計算の基礎基本を身に付けさせようと朝学習の取組をはじめました。また、各学年における漢字・計算チャレンジテストに向けて、根気強く取り組む姿、低学年で計算カードを一生懸命唱える姿、九九の暗唱に挑戦する姿が見られました。

【教員の受容・指導】

児童との関係性において、担任が児童の話に耳を傾け、努力した行動を価値付けたり認めたりすることで自己肯定感の高まりにつながっています。また、子どもたちは、トラブルや良くない行動に対して指導されたことを正しく受け止めていることが窺われます。今後も児童が納得感を感じられるように指導をしていきます。

評価の低かった内容については今後の課題として継続して取り組みます。

お忙しい中、アンケートへご協力いただき感謝申し上げます。